

【有限会社 石井工建】

当社は、平成元年3月に創業し、今年で創立36年になります。現在は福島支店郡山新幹線出張所管内(主に東北新幹線 郡山～新白河間)にて従事しております。前代表石井正宏の退任に伴い、令和6年8月1日より石井佑哉が代表に就任、新体制をもって日夜奮闘しております。会社の経営理念である「お客様の為に、われわれ安全のために、もう一度、何度でも、繰り返し安全確認!」をもとに安全第一、高品質で確実な施工を目指し、日々取り組んでまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



【代表取締役 石井佑哉】

○今年度工事

今年度は東北新幹線新白河駅構内の分岐器合成マクラギ化を二組施工しました。徐行期間の兼ね合いもあり2月にも作業は残っていますが、無事故で推移できております。作業するにあたりレシプロソー、コードレスドリル等の機械を追加、細かい作業工程を見直すことで昨年度より日々の施工本数を増やすことができました。2月は雪・寒さの影響により、機械の不具合や転倒、道具の手元からの脱落等が起きやすくなる季節ではありますが、無事故・無災害で本工事を終えられるよう努めてまいります。



【分岐マクラギ挿入】

○若手育成の取り組み

今年度は、上記の分岐器合成マクラギ化に必要なBHのオペレーターとして重機運転者を1名、MCオペレーターと軌道工事管理者もそれぞれ1名ずつ取得しました。これからも個人の資質に見合った資格取得の機会や、MCオペレーターと軌道工事管理者の経験の場を積極的に提供できるような環境を整えていきたいと考えています。

○重点実施事項

当社の安全会議において、翌月の重点実施事項をグループで話し合い決めていましたが、今年度からは前月分の重点実施事項をグループで振り返り、そして発表する時間も設けました。



【安全会議】

自身で決めた重点実施項目をグループで振り返り、課題を見つけることでより意義のあるものにしていきたいと思ひます。

○トピックス

当社は開業より、福島県田村市に本社を置いて運営してまいりましたが、令和2年に郡山市安積町に郡山事業所を開設しました。令和6年6月には田村市の事務所を廃止し、郡山に一本化しました。機能を集約することで、スマート化、業務もスムーズに行えるようになりました。

令和6年11月に、郡山本社として、また新体制になってから初めての安全大会を開催しました。福島支店 線路課より菊池主任(現 郡山新幹線出張所)、郡山新幹線出張所より武山所長にご出席いただきました。安全大会では“改良工事における安全の取り組み”を発表し、社員同士忌憚のない意見交換を行うことで、安全に対する意識向上に繋がったかと思ひます。

また、郡山市役所保健所健康づくり課の方をお招きし生活習慣病等のご指導いただき、身体が資本である保線業務において、日頃の生活を見直す良い機会になったかと思ひます。忘れてはいけないポイント 『週二日の休肝日!』



【有限会社石井工建 本社】



【安全の取り組み発表】

《職場のホープの紹介》

佐藤 祐輝(さとう ゆうき) 33歳

1月で入社より2年経過した佐藤くんですが、非常に真面目な性格でありながら、器用に作業をこなす一面も持ち合わせており、先輩社員からも大いに信頼されています。現在は、主に列車見張員として従事していますが、レール交換の際は高速切断や緊張器の操作を任されるなどと、幅広く活躍してくれています。今後も持ち前の器用さ、勤勉さを活かし、多方面で活躍をしてくれることを期待しています。

《鉄道経験》 2年

《抱負》 安全第一・無事故で作業に従事する。

《特技》 車両整備

《趣味》 ゲーム・釣り

《夢》 生涯健康に過ごす



木村 優太(きむら ゆうた) 26歳

当社で一番若い木村くんですが年上に対して物怖じしない度胸、それを許される愛嬌を兼ね備えています。現在は、主に器具員数確認者として従事しており、細かい器具まで必ず自分の目で一つ一つ確認し、確実に任務を果たしてくれています。社内ではパソコンを使った作業も得意とし、器具帳を皆が使いやすいよう改良してくれる器用さもあります。今後も強みであるその度胸を活かし、様々な作業を経験し、優秀な軌道工として成長してくれることを期待しています。

《鉄道経験》 1年3ヶ月

《抱負》 仕事を覚え保守用車OPができるよう頑張ります。

《特技》 画像編集

《趣味》 鉄道撮影・アニメ鑑賞

《夢》 億万長者

